

横浜型小中一貫教育

釜利谷中ブロック

釜利谷中学校

釜利谷小学校

釜利谷南小学校

高舟台小学校



本年度ブロックテーマ

「人との関わりを大切にした指導の研究」

4校の連携をさらに深めるために、7月末、各校の昨年度の学習状況調査結果を持ち寄り、ブロックの特徴を検討しました。その結果、釜中ブロックの小学校3校は学校生活・校外生活とも楽しく前向きに生活している子が多く、その子たちが進学した中学でも充実した生活を送っているようです。しかし、「人とかがかりたい」「人の気持ちを考えたい」と思っているが、自分に自信がなく自己有用感が低い傾向もありました。子どもたちの前向きな気持ちを大切にしながら、さらにコミュニケーション能力を高める指導を継続していきます。

本年度の小中連携に伴う具体的実践例

小中合同教科別情報交換会

教科に分かれて話し合い(5月)

小学校・中学校職員が6つの教科部会に分かれて、テーマに迫るために何ができるかを探りました。小学校・中学校の教科の特性をお互い理解し、小中一貫教育に向けて、カリキュラムの確認をしました。

また、各校の土曜参観や運動会・フェスティバル等の機会をとらえて、全職員がそれぞれの学校を訪問し、保護者と一緒に子どもたちの様子を参観しました。

小中合同授業研究会研究会

授業を通しての研究(11月)

今年度は、高舟台小学校で6クラス、釜利谷中学校は全クラスが授業公開しました。

研究会では「人との関わり」「伝え合う楽しさ」「問題解決型学習」に焦点をあて、よりよい指導の仕方について、意見交換を行いました。

それぞれの学校で行っている研究の成果も伝え合い、質の高い研究会となりました。今後も授業力の向上をめざして、研究を続けます。